

令和3年度 第1回 川口市学校給食運営審議会議事録

1 日 時 令和3年11月4日（木）午後10時30分～午後12時00分

2 会 場 元郷学校給食センター2階 会議室

3 出席者

川口市学校給食運営審議会委員 11名（定数15名、うち4名欠席）

嶋根 謙太（学校法人嶋根学園川口しらぎく幼稚園理事長）

伊藤 公介（一般社団法人川口歯科医師会理事）

林 美津子（川口市保健所食品衛生課長）

鈴木 恵子（川口市食生活改善推進員協議会芝西支部支部長）

伊藤 政久（川口市立安行東小学校長）

佐々木 小百合（川口市立戸塚綾瀬小学校長）

戸谷 弘幸（川口市立南中学校長）

清水 啓太（川口市PTA連合会副会長、川口市立木曾呂小学校PTA会長）

福井 義範（川口市PTA連合会副会長、川口市立芝中学校PTA会長）

吉村 新（川口市PTA連合会副会長、川口市立領家中学校PTA副会長）

梅本 魔子（公募）

教育委員会事務局 6名

茂呂教育長、狩野学校保健課長、大和給食第2係長、阿部指導主事、中川主任（給食第1係長代理）、吉田主事

出席者計 17名

※欠席者 4名

※傍聴者 1名

4 概要

- (1) 開会
- (2) 委嘱書交付
- (3) 挨拶（教育長/会長）
- (4) 自己紹介
- (5) 議事

事務局より川口市学校給食運営審議会条例第8条第2項に基づき会議が成立している旨の報告後、以下の審議がなされた。

議題1 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

学校保健課長が説明。

議題2 令和3年度川口市学校給食実施状況報告について

指導主事、給食第1係主任、給食第2係長が説明。

議題3 学校給食における食物アレルギー対応について

指導主事が説明。

○質疑応答

副会長：議題2の8について、教育長の挨拶でもコロナ禍での食べ方が重要との言及があったが、当園でも子どもたちにソーシャルディスタンスの確保・黙食の徹底を行っている。個人的には会食の時間は人間関係の構築・コミュニケーション能力の向上に必要であると考えており、子どもたちには楽しく食事をしてほしい。今後の食育活動の展望についてお考えを聞きたい。

事務局：コロナ禍の影響により一方向を向き、食事の際のみマスクを外す黙食を徹底しているが、しばらくは会食という形で向き合って食事を行うことは難しいと考えている。コロナウイルスがどの程度落ち着くか見通しが立たないが、国の基準が下がれば本市としても同様に変更していくことを検討したいと考えている。

委員：現状では食べるという行為に対して食育を行うことは難しいが、食に対しての学びとして給食の時間とは別に、産地やルーツを学ぶ機会があれば食べ物への理解を深め知識を取り入れるということも食育に繋がるのではないか。

事務局：コロナ禍の影響により、教科としての食育活動についてどのようなことを行っているのか、委員にお聞きしたい。

委員：本校（戸塚綾瀬小）では、年に3～4回ほど元郷学校給食センターの栄養士に来校していただき食に関する指導の授業を実施している。これまでに

1年生には箸の持ち方、3年生には初任者とともに食事から排泄までの流れを学んでいる。今後も6年生が家庭科の授業で献立作成の学習を行う予定である。コロナ禍の影響で調理実習を行うことは難しいが、その他で食育を進めている。

委員：本校（安行東小）では、新郷学校給食センターの栄養士に来校していただき、写真や実物（調理機器）を見せながら安全衛生等についても説明を行っていただいている。教科では社会科で国際理解の一環として食事を学んでいる。その他にも総合的な時間として生活習慣を学び、その中に料理がある。

委員：コロナ禍の影響で給食試食会を実施出来ずにいるが、試食会を行う指針があれば教えていただきたい。

事務局：PTAと学校で協力して行っている試食会については、開催の有無を教育委員会で判断していない。試食会を行う人数やそれに伴い確保できるスペース等は学校毎に異なるため、学校と協力して衛生管理を徹底していただければ可能だと考えている。

(6) 閉会

(7) 学校給食試食

(以下余白)